環境にやさしい農業　現地指導講習

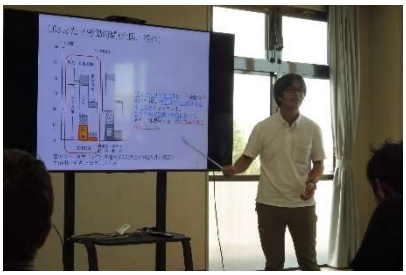
実施日　令和７年９月 17 日（水）

場　所　松本市　（公財）自然農法国際研究開発センター他

内　容　産業建設課長から講座開講にあたってのあいさつと町の環境にやさしい農業の取り組み等について、説明を行いました。

続いて、同センター専門技術員の三木氏から「有機農業の意義と課題と技術」と題して、座学による講座を行いました。順序立てて、有機農業の意義と課題、水稲有機栽培技術の視点や考え方、苗の準備と田植えについて、同センターでのこれまでの研究実績をもとに、説明をしていただきました。参加者からはこれまでの考え方と異なる新しい視点や土づくりの重要性を認識することができたと感想を述べており、熱心に質疑応答のやり取りしていました。





休憩後、同センターが管理・栽培を行っている実験ほ場の視察を行いました。
ほ場は慣行農法と見分けが付かないほど稲の生育状況も良好で管理が行き届いていると感じました。同一ほ場内に品種・定植時期・畝間等の条件を変えながら試験栽培を行っており、説明をいただだいた内容を直に見ることができ、よりイメージや実感を得られるとの声が挙げられていました。







